

講演者プロフィール



高山 憲之(たかやま のりゆき)

1946年生まれ。東大大学院修了。経済学博士。現在、一橋大学経済研究所の世界的権威。「年金の鉄人」としてテレビ朝日・報道ステーションに出演。「世代」の代表を務める。その事後評価はA+（期待以上の研究の進展があった）から世代間問題研究プロジェクトの代表。日経・経済図書文化賞受賞(1996年) 年金改革』(東洋経済新報社、2004年) 等。

URL: <http://www.ier.hit-u.ac.jp/~takayama/>



安田 賢二(やすだ けんじ)

1965年生まれ。早大大学院修了。理学博士。東大助教授を経て現在、東京料工学研究所教授。生命現象の中の後天的獲得情報のしくみを1細胞からし、新分野オンチップ・セロミクス創出。NEDO、JST関連の複数大型プロジェクトの代バイオテクノロジーを融合させた一連の計測技術を開発。生命システム理解と、その可能性を探索。応用物理学論文賞(2000年)、MNC 2004 Award for Most Presentation(2005年) 受賞。著書等: *Lab-on-Chips for Cellomics* (Kluwer, 2004) 等。



真島 一郎(まじま いちろう)

1962年生まれ。東大大学院博士課程修了。社会学修士。現在、東京外国語文化研究所助教授。1980年代末より仏語圏西アフリカ地域を対象とした文化に従事。主な研究テーマ: 西アフリカ村落社会における情報流通の様態、植民地終動論、冷戦後の紛争問題、人類学的思考の思想史上の位置づけ等。日本(1998年)、澁澤賞(2003年) 受賞。著書等: 『だれが世界を翻訳するのかーア(人文書院、2005年) 等。URL: <http://www.aa.tufs.ac.jp/~imajima/>



林 静雄(はやし しずお)

1947年生まれ。東京工業大学大学院修了。工学博士。現在、東京工業大学キュアマテリアル研究センター長(教授)。鉄筋コンクリート構造の耐震性に関する最高材料害を調査。日本建築学会災害委員会委員長、鉄筋コンクリート構造運営委員会学協会コンクリート診断士委員会委員長等を兼職中。日本コンクリート工学協会功賞。著書: 『阪神・淡路大震災調査報告-鉄筋コンクリート造建築物』(日本建築コンクリート構造』(森北出版、2004年) 等。URL: <http://www.serc.titech.ac.jp/~hayashi/>